

中沢かつゆき 通信

自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



自民党鎌倉市連合支部青年局長

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！

災害の年・2011年

2011年は、「災害」の年となってしまいました。3.11東日本大震災、信越地震、新潟・福島大洪水、台風15号。行政として何ができるのか、何をしなくてはならないのかを問い続けた年でもありました。3月、市民の皆さんの温かいご支援を被災地に届け、その後毎月被災地に伺っています。次に何ができるかを考え、企画しています。議員として、一人の人間としてこれからも続けていかなければと思っています。2012年も、被災地に「夢」を届けます。次代を担う子供たちが、「夢」を諦めず「夢」をかなえてほしいと願っています。11月に被災地に伺ったとき、子供たちの「笑顔」に会いました。また「笑顔」に会いたいと思います。

鎌倉市では、12月に今後5年間の行政計画である「後期実施計画」が策定されました。この中で、初議会以来取り組んできました「砂押川歩道整備」が実現することとなりました。今泉地区の皆さんの長年の懸案であった「砂押川歩道整備」は、平成24年度から動き始めます。また、防災対策も多く計画され、鎌倉市の防災に対する考え方を根本から変えなくてはと思っています。大災害時、どのようにして一人でも多くの人命を救助するか、行政機能の補完をいかにやっていくか、いかに早く復旧を行っていくか。被災地で目の当たりにした行政の課題です。これからも、ライフワークである「防災」にしっかりと取り組んでいきます。

被災地の子供に届けたもの



先輩議員と取り組んできました、被災地の子供に野球道具を届けることが実現しました。米大リーグ選手会日本代理人の方と鎌倉在住の米国人の方と4人で、2011年5月から取り組んできました。イチロー選手から「ボトムアップがいい」とのアドバイスをいただき、まず石巻市の少年野球団体を訪ねました。約半年何度も通ってようやく実現しました。11月12日、仙台出身のメジャーリーガー・斉藤隆投手とアメリカンスクールの子供たちと一緒に、石巻の子供たちに米大リーグ選手会からのプレゼントを贈りました。「MLB」マークの入った野球道具に、目を輝かせていた子供たちの笑顔を見ることができ、取り組んでよかったと思います。まだまだこれからもいろいろと企画していきたいと思っています。

12月議会

神奈川県が津波浸水予測図案を示し、鎌倉市は最大14.4mの津波が想定されるとされました。被災地に行きますと、鎌倉とよく似た地形の多いことがわかります。湾の奥に行くに従って狭くなる地形は、津波が高さを増すということでもあります。今後神奈川県が策定する防災計画の見直しを受け、鎌倉市も早急な防災計画の見直しを行わなくてはなりません。そして、復旧と復興の諸手続きについても、もう一度見直す必要があります。大災害時に、大混乱の中でも行っていかなくてはならない人命救助、復旧そして復興。行政手続きの課題について再度確認を行いました。

新副市長が就任し、最初の一般質問ですので、基本姿勢について質問を行いました。ゴミ問題については、「エタノール発電が最先端技術」との答弁があり、今後の方向性の一端なのか注視していきます。また、市立保育園の民営化を市長が検討指示を出したとの話があり質問をしました。平成17年度、材木座保育園保護者会会長をしていた時、鎌倉市立保育園民営化検討委員をしていましたが、当時の行政計画である「5拠点園」構想が未だ実現していない中、突然市立保育園すべてを民営化、という話に違和感を覚えました。学童保育の「運営要綱」をわざわざ各子どもの家を市長が回って説明をしたにも関わらず、撤回となっています。子供の環境整備について、もう少し理念を持って進めていただかないと親が戸惑ってしまうということを指摘しました。

総務常任委員会では、部局再編についての条例が付託されましたが、教育委員会所管であった「スポーツ課」を市長部局に移すということに、疑問を抱きました。スポーツを通じて子供の健全育成が、今後「政治色」を帯びてしまうことに一抹の不安を持っています。課題を残した議会ですので、2月議会でも質問を行います。

砂押川歩道整備、後期実施計画で実現

平成21年鎌倉市議選の時、公約の一つとして約束させていただきました、「砂押川歩道整備」。2011年2月議会で国と県から整備に関して法令、補助金等において何ら問題がないとの確認をし、9月議会で市長から「前倒しをして着工できるように努力していきたい」との答弁を得、12月策定された後期実施計画で正式に決定しました。平成24年度から測量と基本設計を行い、地元の皆さんへの説明をしていきます。平成25年度で実施設計と積算を行っていきます。着工は平成26年の予定です。今泉地区の皆さんにとって長年の願いであった「砂押川歩道整備」がようやく実現することとなりました。今泉地区にお住いの子供から高齢者の方まで安心して歩くことができる歩道が、ようやく整備されます。今後は、担当課とよく連絡を取り、一日も早い完成に向けて努力していきます。

中沢かつゆきの経歴

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業
東京電機大学理工学部情報科学科卒業
スパライズ株式会社代表取締役
大阪観光大学観光学研究所
客員研究員
鎌倉中央ロータリークラブ理事
材木座保育園保護者会会長
にかいどう子どもの家父母会会長
鎌倉市テコンドー協会顧問
県議会議員中村省司秘書
著書「安全な温泉・あぶない温泉」
(草思社刊)

二階堂在住

事務局：Tel 0467-61-0305

Fax 0467-61-0315

ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？



* 中沢かつゆきは温泉コンサルタントでもあります *

田代温泉：大館能代空港から30分で、たしろ温泉ユップラがあります。今は大館市ですが、合併前は「田代町」の公共の宿です。青森県に近く、八甲田山や十和田湖、さらには世界遺産登録・白神山地など北秋田観光には拠点の宿です。秋田は「縦」の交通アクセスが良くないといわれます。特に冬は時間がかかりました。しかし、大館能代空港ができてからは、便利になりました。平成10年には、日本ジャンボリーが秋田県で開催され、全国からボーイスカウトが集まりました。施設はテニスコートや広場に囲まれた公園の中にあり、自然豊かな環境です。日帰り温泉もあり、いろいろな湯を楽しめる温泉です。泉質は、ナトリウム・カルシウム一塩化物泉。適応症は、切り傷、皮膚病や婦人病などです。マタギ発祥といわれる阿仁地区で、冬の狩人の体験をしながら温泉に浸かる。まさに贅沢な時間です。冬の秋田は雪に閉ざされますが、日常から離れ癒しの時間を過ごすにはいいところです。

<http://www.yuppura.jp/index.htm>